

第2学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 みんなの前で話そう「好きなことをつたえよう」
～ぼく・わたしの「大すき」をつたえあおう～

- 2 単元について

- (1) 単元と副題について

本単元は、「内容」を考えて話す2年生最初の単元である。教科書では、「好きなこと(もの)」「とくいなこと」に焦点を当てて、身のまわりの事柄から伝えたいことを選び、話す順序を考えて説明したり報告したりする流れになっている。本研究では次期学習指導要領に対応させ、子供自身が本当に伝えたいことが話せるよう、選ぶ範囲を広げることでもできる副題にした。

また、話して伝えるだけでなく、よく聞いて思ったことを伝え合う(対話的な学び)言語活動を行うことで、互いを理解し合い、伝え合うことの楽しさを味わわせたい。

- (2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元の学習を通して、子供たちには大きく2つの力を付けてほしい。まず、スピーチ原稿ではなく短いメモを使って理由や順序を表す言葉を使いながら、自分の思いを友達に伝えること(A(1)イ)。次に、話し手が知らせたいことを落とさずに集中しながらよく聞き、その内容や理由について、自分なりの感想を伝えることである(A(1)エ)。

- (3) 日常的な取組と本単元へのつながり

本学年では4月から、帰りの会で「今日のヒーロー」と題して、友達の良いところを伝える時間を設けている。学習前時の復習で簡単な答えを発表する際や他教科の前時の復習の場面で、分かった子から立って待ち、全員で答えを言うようにした。また、「指名されないから手を下ろす」ということがないように、はじめに手を挙げた子は全員が立ち、端から順番に全員の意見を聞いていくという指名法を多用してきた。

また、友達の意見に対して「うんうん。」「ああ、そうか。」などの感嘆の声や、間違っても「おしい。」などの温かい言葉がけが出ることで、全員が気持ちよく学習に取り組む雰囲気が育ってきている。

本単元では、5月から使用している「話し方・聞き方のあいうえおパート2」を作って掲示し、自由に活用できる環境を作る。また、短い言葉でメモをとるために、日記と一緒に貼りに使っている「ことばメモ」を活用し、短い言葉を使って言葉集めをしていく。本単元では、メモの取り方をまとめ、より意識できるようにしたい。

良い話し手を育て、対話をもとに学びを深めるためには、聞き手の存在が重要だと考える。そこで本単元では、聞くことに重点を置いた学習を展開する。そして、「聞き方」の型を意識させながら、相手が知らせたいことを落とさずに聞き、相手が話を続けやすくなる雰囲気を育てたい。

3 児童の実態

(1) 考察

省略

(2) 本単元での主な手立て

そこで、本単元では、児童がすぐに利用できるように基本的な話型や、役に立つ接続詞などを掲示する。まず、教科書をもとに、話すために効果的なメモについて学び、短い言葉でメモが取れるようにする。メモは、はじめ（青）・中（黄）・おわり（ピンク）の色ごとに分け、順序を意識しながら話せるようにする。

つぎに「聞き方のあいうえお」パート2を掲示する。これは実態に即して作った前掲示から、より新学習指導要領にせまった内容を児童の言葉で追加したものである。視覚化した掲示を常に参考にしながら伝え合う活動に参加することで、集中しながら聞く態度を育てていく。

本時では、ボイスレコーダーで録音しておいた音声をもとに、聞き方についての学習に重点を置く。そこで、自分たちの録音を聞いて振り返れるようにし、話し合ったことを一言感想にして付箋紙で渡す、という言語活動を取り入れる。そして、どの子も自信をもってメモをもとにスピーチができるように練習し、次時の発表会に繋げていきたいと考える。このように段階を踏んだ話型を意識しながら身に付けていくことで、自分の考えや友達の考えを「伝え合えた」という喜びを感じてもらいたいと考える。

4 単元の目標

○自分の「大好き」について、理由を考えながら話したり、友達の話聞いて感想を述べあったりしようとする。 (関心・意欲・態度)

○伝えたい内容を考え、メモをもとにみんなに伝わるように訳を話すことができる。 (A話すこと・聞くこと (1) イ)

○話し手が知らせたいことを落とさないようにしながら、集中して聞くことができる。 (A話すこと・聞くこと (1) エ)

5 評価規準

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	言語についての知識・理解・技能
・身近な事柄から話題を決め、楽しく話したり、聞いたりしようとしている。	・好きなことの内容とその理由が伝わるように、メモを基にして話そうとしている。 ・頷きや相槌を交えながら、集中して聞こうとしている。	・姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意しながら、伝え合おうとしている。

6 指導計画（7時間計画）

次	時	主な学習内容	○指導上の留意点 ◇評価
0次	日常	<p>○「今日のヒーロー」に選んだ理由を言うように支援する。</p> <p>・話す時に使うとよい言葉を掲示しながら書き溜めておく。</p> <p>○「ことばメモ」に気になった言葉や分からなかった言葉をメモしておくよう声をかける。</p> <p>・教師の説明や辞書遊びの中で、分かったことを空欄に書く。</p> <p>・言葉だけでなく、ことわざ・熟語、話し合った時に心に残ったことを書き溜めておく。</p>	<p>○はじめは、教師が「なぜですか。」と問いかけ、次第に自分で聞かれる前に言えるようにする。</p> <p>○辞書遊びの中で知りたい言葉を見つけた子を称賛し、みんなで意味を確認する。</p> <p>◇教師の記録。児童のメモ。</p>
一次	1	<p>○学習の流れを掲示し、「大好きなこと」について、順序を考えながら短い言葉でメモにし、クラスのみんまで伝え合うというゴールを知らせる。</p> <p>○伝え合いの場の名前をみんなで考えるように促す。</p>	<p>○教師見本を2種類示し、説明してから掲示することで、見通しがもてるようにする。</p> <p>◇意欲的に参加している。</p>
	2	<p>○教科書を読み、掲示した流れと見比べながら、学習内容をつかむよう声をかける。</p> <p>・理由を述べることのよさに気付く。</p>	
二次	3	<p>○これまでの生活や日記帳を広く振り返り、好きなことや好きになったことを思い出す。</p> <p>○自分で考えたり友達と相談したりして、自分の題材を選ぶ（青いメモ）。</p>	<p>○ヒントになる題材例をいくつか挙げ、全員が決めやすいように支援する。</p> <p>◇自分で題材を選ぼうとしている（メモ・態度）。</p>
	4	<p>○好きな理由ごとにメモ（黄色）にいくつか書き出し、順番を考える。</p> <p>○まとめの言葉を考える（ピンク）。</p> <p>○色のメモを操作して、メモを完成させる。</p>	<p>○実際に見せたりするものがあると効果的であることを伝える。</p> <p>◇具体的な理由をいくつか書き出している（メモ）。</p>
	5	<p>○話し方のポイントを確認する。</p> <p>○メモをもとに、順序を表す言葉や接続詞を用いて発表の練習をする。</p> <p>○三人組を作り、大好きなことやその理由を話し、ボイスレコーダーに録音する。 (学習参観)</p>	<p>○次時に友達と聞き合うことを伝え、構成などを推敲するよう支援をする。</p> <p>◇大好きな理由が伝わるように、理由を順序よく話している（メモ・ボイスレコーダー）。</p>

	6 (本時)	○聞き方のポイントを確認する。 ○ボイスレコーダーを聞きながら、よかったところやアドバイスを伝え合う。 ○それぞれの聞き方やはどうだったかを付箋に書いて渡す。 ・アドバイスをもとに、もっとわかりやすくなる工夫をする。	○互いによかったところやアドバイスを伝え合うように声をかける。 ◇友達の言いたいことが聞き取れるよう、集中して話を聞いている(態度・発言)。
三次	7	○みんなの前で発表会をする。 ○メモを基に適切な声で話したり、頷きながら聞いたりして、感想を伝え合う。 ○単元の学習を振り返る。	○楽しい雰囲気では伝え合えるように気を付けることを確認する。 ◇自分が伝えなかったことを理由をつけて伝えている。

7 本時の指導

(1) 本時の目標

○話し手が知らせたいことを落とさずに聞き、自分の感想を伝えることができる。

(A話すこと・聞くこと(1)エ)

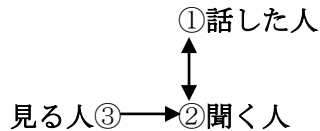
(2) 本時の展開(6/7)

学習活動と内容	主な支援(○)と評価(◇)
1 前時までの活動を想起し、話し方・聞き方のポイントを振り返る。	○掲示物を見せながら、留意点を確認する。
2 本時のめあてをつかむ	○学習の流れを参考に、本時のめあてをつくる。
友だちとはっぴょうを聞きあい、つたえたいことがわかりやすくなるようにしよう。	
3 教師の例をもとに、良いところや気をつけるところを全体で確認する(事前に撮ったビデオを流す)。	○全員で確認した点を活かすように、机間指導をしながら助言する。 ○留意点に沿った聞き方ができたかを良い点と気をつける点に分けて板書で強調する。
4 三人組になり、順番に聞きながら話し合うという手順を確認する。 ①話した人…ボイスレコーダーの録音を聞き、自分の伝えたいことが分かるように順序よく話せたかを確認する。自分へのアドバイスを話し合いながらメモする。	○ボイスレコーダーを活用し、聞き返しながら、感想を沢山見つけるように説明する。 ○全員で確認した点を活かすように、机間指導をしながら助言する。 ○付箋を用意する。

②聞く人…相手が知らせたいことは何かを考えながら、頷いたり相槌を打ったりしながら集中して聞く。良かったところや感想を伝え、付箋にも書いて①に渡す。

③見る人…聞き手の反応や話し合いを見て、良かったところやアドバイスを付箋に書いて②に渡す。

・①～③の役割を回す（欠席があった場合はそのまま）。



5 全体で今日の練習の内容を振り返り、ノートに感想を記入する。

6 数名に発表してもらい、次時の発表会への意欲付けをする。

◇（聞）頷いたり相槌をうったりしながら集中して聞き、自分の感想を伝えようとしている（付箋・ボイスレコーダー）。

○順番 ①→②→③ ②→③→①
③→①→②

○ノートにメモや今日の感想を書くように、拡大投影機で例を示す。

○話しやすい雰囲気で行えるように伝える。

(3) 板書計画

かったところ。)

感想

ろ。

・聞…「聞き方のあいうえを」でよかったところ。

りゆうがわかるようにせつ明できたか。

・話…じゅんじょよくせつ明できたか。

◎聞くときに気をつけるところ

④ 思ったことをあとでつたえられるように（メモ）

聞き方のあいうえお

ぼく・わたしの「大すき」をつたえあおう

友だちとはつぴようを聞き合い、つたえたいことがわかりやすくなるようにしよう。

日付